

# 航空機搭乗時の注意点

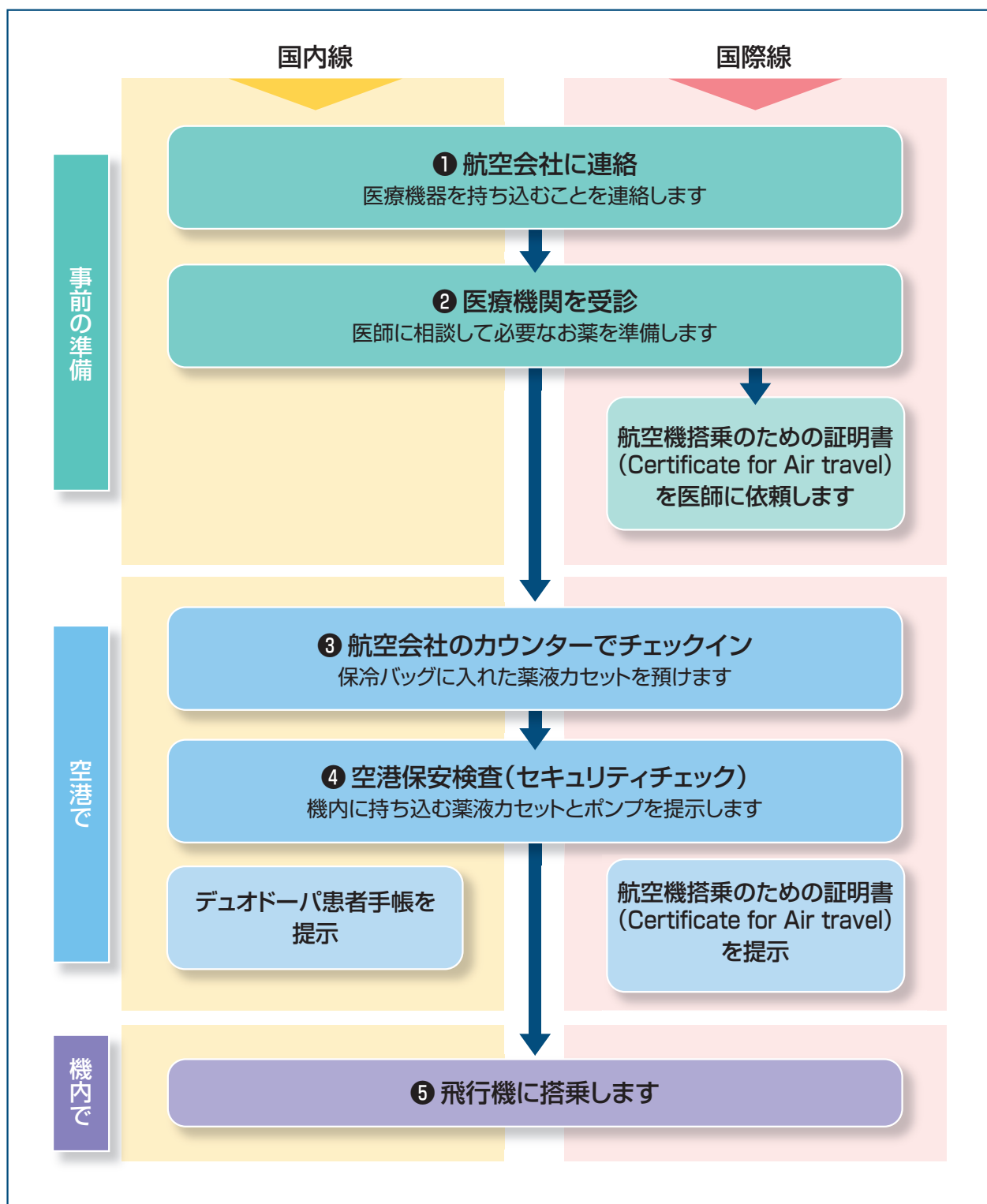
航空機利用時の流れ	92
事前の準備	93
①航空会社に連絡します	93
②医療機関を受診します	94
空港で	95
③航空会社のカウンターでチェックイン	95
④空港保安検査(セキュリティチェック)	95
機内で	96
⑤飛行機に搭乗します	96
航空機利用時のチェックリスト	97
海外旅行をされる方のための航空機搭乗のための証明書 (Certificate for Air travel)	98

# 航空機搭乗時の注意点

デュオドーパ治療を受けながら国内線や国際線の航空機をご利用いただくことが可能です。

ここでは搭乗に際しての必要な手順を説明します。

## ● 航空機利用時の流れ



## 事前の準備

### ① 航空会社に連絡します

ご使用のポンプは、航空機の運航に影響のない電磁波放射規格を満たしている精密医療機器ですが、航空機利用の際には、毎回航空会社に連絡する必要があります。

航空券を購入する際には、医療機器を機内に持ち込むことを伝え、航空会社の指示を受けてください。

### ■ 航空会社に伝える内容

医療機器名	小型携帯型薬剤注入ポンプ
医療機器の登録名称	シーエーディーディーレガシィ デュオドーパ ポンプ, モデル 1400 CADD-Legacy Duodopa Pump, Model 1400
電磁波放射規格	RTCA/DO-160Cに適合
使用電池(バッテリー)	アルカリ乾電池単3形(2本)
サイズ(ポンプのみの大きさ)	11.2cm×9.5cm×4.1cm

\* 航空会社によっては、医師の作成による診断書の提出を求められる場合がありますので、指示に従ってください。

(ANAやJAL利用の場合は診断書を提出する必要はないようです)

\* 共同運航便の場合は、運航会社側が医療機器の持ち込みの可否を判断します。確認に時間を要する場合がありますので、早めに連絡するようにしましょう。

\* 旅行会社のツアーをご利用の場合は、旅行会社に相談してください。

\* 機内で保冷用の氷が必要な場合は、事前に航空会社に相談してください。ドライアイスはお薬が凍結しますので保冷剤として使わないでください。なお機内の冷蔵庫を使うことはできません。

### ポイント：薬液カセットの取り扱いについて

移動中にカセットを保冷する保冷剤及び保冷バッグはご自身で持参してください。機内の冷蔵庫を使うことはできません。

空港保安検査においては、「医薬品の機内持ち込みは機内で使用する分のみ持ち込み可能」とされています。

そのため、カセットは機内持ち込み用とカウンター預け用のふたつに分けて保冷バッグを準備してください。

\* 機内持ち込みのバッグにはサイズ制限がありますので、保冷バッグは3辺の合計が115cmに収まるようにしてください。

## ② 医療機関を受診します

医師に旅行計画を相談して、必要数のカセットと緊急時用の経口レボドパ製剤の準備をします。

### ■ 海外(国際線利用)の場合

航空機搭乗のための証明書(Certificate for Air travel)を医師に依頼します。

\*デュオドーパ治療についての英語の説明書です。

海外の航空会社のカウンターや空港の保安検査(セキュリティチェック)で必要に応じて提示します。

### ■ 日本国内(国内線利用)の場合

お手持ちの「デュオドーパ患者手帳」を空港で提示します。

国内線国際線ともに「デュオドーパ患者手帳」は常時身につけておいてください。

## 空港で

### ③ 航空会社のカウンターでチェックイン

\* 余裕を持って早めに空港に到着してください。

チェックインカウンターで、医療機器(ポンプ)と薬液カセットを機内に持ち込むことを伝えます。

旅行先で使用するカセットは、持参した保冷剤入りの保冷バッグに入れてカウンターで預けます。

#### 薬液カセットの機内持ち込みについて

空港保安検査においては、「医薬品の機内持ち込みは機内で使用する分のみ持ち込み可能」とされています。

そのため、カセットは機内持ち込み用とカウンター預け用のふたつに分けて保冷バッグを準備してください。

また、緊急時用の経口レボドパ製剤も必ず携帯してください。

### ④ 空港保安検査(セキュリティチェック)

\* 保安検査に時間がかかることがありますので早めに検査を受けてください。

#### ■ 日本国内の保安検査の場合

下記を伝えて、デュオドーパ患者手帳を必要に応じて提示します。

- ポンプによる持続的な薬剤治療を受けていること
- ポンプが金属探知機に反応すること
- 必要数の薬液カセットと保冷剤を機内に持ち込むこと

#### ■ 海外の保安検査の場合

航空機搭乗のための証明書(Certificate for Air travel)を提示します。この書類があると説明を求められた場合にスムーズです。

### ポンプの保安検査について；

ポンプを外してX線を通すように指示された場合は、直前にポンプをストップさせてポンプを外します。

- X線通過後は速やかにポンプを接続して投与を再開します。
- ポンプはX線を通して影響は受けませんのであわてずに対応しましょう。

### 薬液カセットの保安検査について；

- 医薬品は液体物の量的制限適用外ですが、保安検査は実施されます。保冷バッグを開けて確認いただくようにしてください(透明なビニール袋に入れる必要はありません)。
- 空港保安検査においては、「医薬品の機内持ち込みは機内で使用する分のみ持ち込み可能」とされています。機内持ち込みにするカセットの数量にはご注意ください。

## 機内で

### ⑤ 飛行機に搭乗します

- 機内に持ち込んだカセットや緊急時用の経口レボドパ製剤、およびポンプの予備の乾電池は取り出しやすい場所に置きます。
- 薬液カセットは、機内の冷蔵庫で保冷管理をお願いすることはできません。**
  - \* 機内で保冷用の氷が必要な方は、事前に航空会社に相談してください。
  - \* ドライアイスはお薬が凍結しますので、保冷剤として使わないでください。
  - \* 使用済みのカセットは、機内や空港内では処分せず必ず持ち帰り、正規の方法で廃棄してください。

## デュオドーパ コールセンター

フリーダイヤル

0120-063-789

受付時間：24時間365日〈通話料無料〉



何かご不明な点等がございましたらいつでもお気軽にお問い合わせご相談ください。

## ● 航空機利用時のチェックリスト

<b>航空会社/旅行会社に連絡する</b>
<input type="checkbox"/> 機内に医療機器(ポンプ)を持ち込むことを伝える
<b>医療機関を受診し医師に相談する</b>
<input type="checkbox"/> 薬液カセットの必要数を相談する
<input type="checkbox"/> 緊急時用の経口レボドパ製剤の準備について相談する
<input type="checkbox"/> 海外旅行の場合は【航空機搭乗のための証明書】(英語版)を依頼する
<input type="checkbox"/> (必要に応じて)診断書を依頼する
<b>事前に確認しておくこと</b>
<input type="checkbox"/> 移動に要する時間分(自宅から宿泊先まで)の保冷剤の準備
<input type="checkbox"/> 宿泊先での冷蔵庫の有無
<input type="checkbox"/> 旅先で氷の調達は可能かどうか
<input type="checkbox"/> 海外旅行傷害保険への加入
<b>旅程に応じた薬や持参するもの</b>
<input type="checkbox"/> 薬液カセット必要数+予備(箱に入れたままで保冷)
<input type="checkbox"/> 緊急時用の経口レボドパ製剤必要数
<input type="checkbox"/> フラッシング用の注射器とアダプタ
<input type="checkbox"/> アルカリ乾電池単3形(交換用と予備)
<input type="checkbox"/> 保冷バッグ(機内持ち込み用)バッグサイズは3辺の合計が115cm以内
<input type="checkbox"/> 保冷バッグ(航空会社カウンター預け用)
<input type="checkbox"/> 保冷剤(必要数を2日以上前から冷凍庫で冷却)
<input type="checkbox"/> 併用薬、必要に応じた常備薬
<b>旅行中に携帯するもの</b>
<input type="checkbox"/> デュオドーパ患者手帳
<input type="checkbox"/> 海外では【航空機搭乗のための証明書】(Certificate for Air travel)
<input type="checkbox"/> (必要に応じて)お薬手帳
<input type="checkbox"/> (必要に応じて)診断書

(参考)

医師に作成を依頼してください。

航空機搭乗のための証明書

### Certificate for Air travel

I am using a Duodopa Continuous infusion Pump for treatment of Parkinson's disease.

This system consists of a medication cassette containing Levodopa/Carbidopa Intestinal Gel and a continuous infusion pump device to administer the medication.

- **The medication cassette requires chilled storage at 2-8 °C** and refrigerating material.
- **Additional medication cassettes may be required in flight.**  
(The medication cassette should not be used for longer than 16 hours once it is out of the refrigerator.)
- This pump conforms to the requirements of **RTCA DO-160C 12.89**( section 21- Radiated Emissions only). This pump will not interfere with the aircraft's electronic system.
- The catheter, connectors, pump and medication cassettes contain metal parts that may set off the security metal detectors.

<Product information>

- Medication cassette (Duodopa® intestinal gel)  
Each medication cassette (100ml) contains:
  - Levodopa 2,000mg    • Carbidopa 500mg    • Carmellose sodium    • Water
- Pump: CADD-Legacy® Duodopa1400, Model 1400

私は、パーキンソン病患者で、デュオドーパ®配合経腸用液を医療機器のポンプを使用して空腸に持続投与する治療を受けています。

- この治療システムは、ポンプ、空腸へ薬剤を送るチューブ、薬剤カセットで構成されます。
- 本薬剤カセットは 2-8℃の温度下で保存する必要があるため、保冷剤を使用します。
- 機内で使用するための予備の薬剤カセットが必要になる場合があります。  
(本剤は、冷蔵庫から取り出した後は 16 時間を越えて使用しないこととされています)
- ポンプは、RTCA/DO-160C の規格をクリアしており、航空機の運航に影響しません。
- カテーテル、コネクター、ポンプ、薬剤カセットは金属探知機に反応する可能性のある金属部分を含んでいます。

<製品情報>

- デュオドーパ（薬剤カセット）100ml には以下の成分が入っています
  - レボドパ 2,000mg /カルビドパ水和物 500mg/カルメロースナトリウム/精製水
- ポンプ：CADD-Legacy® Duodopa1400, Model 1400

This is to confirm that the following person is being treated with Duodopa Intestinal Gel via a continuous intestinal infusion pump.

	English
Name/氏名	
Date of Birth/生年月日	Year 西暦年                      /Month 月                      /Date 日
Gender	<input type="checkbox"/> Male/男性 <input type="checkbox"/> Female/女性
Passport#/パスポート番号	



Name of issuing clinic : \_\_\_\_\_ Phone : \_\_\_\_\_

Clinic Address: \_\_\_\_\_

Name of physician : \_\_\_\_\_ Signature : \_\_\_\_\_

Issued Date : \_\_\_\_\_